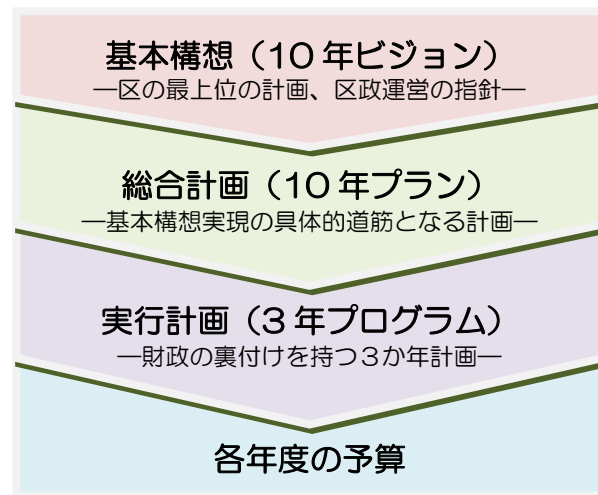


杉並区総合計画・実行計画の概要

「支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」の実現に向けて

区の計画体系



平成33年
杉並区の
将来像

支えあい共につくる
安全で活力ある
みどりの住宅都市 杉並

将来像を
実現するための
5つの目標

- 目標 1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち
- 目標 2 暮らしやすく快適で魅力あるまち
- 目標 3 みどり豊かな環境にやさしいまち
- 目標 4 健康長寿と支えあいのまち
- 目標 5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策 1 災害に強い防災まちづくり

◆平成 33 年度（総合計画の最終年度）の目標◆

- 区内の建築物の耐震化は大きく改善され、また、災害時に避難・救護の拠点となる震災救援所(区立小中学校)周辺などの不燃化や木造密集地域の不燃化対策が進み、倒れにくく燃えにくいまちづくりが進んでいます。
- 総合治水対策として、東京都の河川改修事業とともに、雨水貯留や雨水浸透などの雨水流出抑制対策が進んでいます。

指標名	24年度実績	27年度実績	31年度*1の目標	33年度*2の目標
区内建築物の耐震化率	80.1%	84.6%	94%	96%
木造密集地域の不燃化率(阿佐谷南・高円寺南地区)	53.1%	56.1%	66%	70%
雨水流出抑制対策施設の整備率	43.3%	50.3%	57%	60%

*1 改定中の実行計画(29～31年度)の最終年度 *2 総合計画の最終年度

《具体的な取組》

- ◆ 耐震改修の促進
- ◆ 震災救援所周辺等の不燃化促進
- ◆ 橋梁の長寿命化と補強・改良
- ◆ 木造住宅密集地域の解消対策の推進
- ◆ 雨水流出抑制対策の推進
- ◆ 水防情報システムの改修
- ◆ 水害多発地域対策の推進

施策 2 減災の視点に立った防災対策の推進

◆平成 33 年度（総合計画の最終年度）の目標◆

- 大震災発生時の被害をできるだけ小さくする減災の視点を盛り込んだ、きめ細かい総合的な防災対策が進められています。また、こうした中で、区民の防災意識が向上し、すべての区民が家具の転倒防止や備蓄品の確保、防災訓練への参加などの自助・共助の取組を主体的に行っています。
- 企業等による従業員等の施設内待機のための備蓄品確保や区による一時滞在施設の指定が進み、地域全体で帰宅困難者への支援対策が講じられています。

指標名	24年度実績	27年度実績	31年度*1の目標	33年度*2の目標
家庭内で何らかの防災対策を実施している区民の割合	89.3%	87.1%	98%	100%
避難・救護の拠点である震災救援所(区立小中学校等)を認知している区民の割合	82.5%	80.8%	96%	100%
防災訓練に参加した区民数	38,132人	37,244人	38,000人	40,000人
一時滞在施設の指定数	—	11施設	100施設	120施設

*1 改定中の実行計画(29～31年度)の最終年度 *2 総合計画の最終年度

《具体的な取組》

- ◆ 地域防災力の向上
- ◆ 防災施設の機能強化
- ◆ 自治体間連携による防災対策の推進
- ◆ 帰宅困難者対策の推進
- ◆ ICT を活用した災害情報の収集と発信

目標1のうち、防災・減災に関する施策